

新しい年に想う(2017年1月吉日)

あけましておめでとうございます。

皆さまには恙なく新年を迎えられた事と思います。

昨年、国内特に九州では大きな被害を受けた熊本地震や、博多駅前道路の突然の大陥没。天災はともかく人災の多さに、日本の技術の誇りや信頼は大陥没とともに吹っ飛んだ思いです。

国外ではイギリスのEU離脱やアメリカ大統領選のまさかという結果、これから何が起きても不思議ではないと思います。民主主義がポピュリズムに押される錯覚に陥る恐れを感じます。経済界の価値観も大きく変わるのではないかと感じたりします。

またあらゆる事や物のインターネット化、人間を超える人工知能の発達、限りないグローバル化など今までにない革新による変化が押し寄せて来ています。

その変化に翻弄されることなく、人間としての尊厳をどう守って行くか、命をどう守って行くかに立脚して活動して行きたいと強く思います。

ホームイの活動を振り返れば、2016年は私にとってたいへん忙しい年でした。子どもプロジェクトの新しい事業「生野きらきら子ども食堂」を開設した事や10月、11月は内閣府主催の「高齢社会フォーラム in 下関」、下関圏域生活支援協議会主催のセミナー、やまぐちネットワークエコー主催の「男女に活躍 生涯学習ネットワーク研究会」など、講演やパネラーとして登壇した事など、対外的にも忙しい年でした。

今年は「今、笑顔になれる社会」を目指して活動を始めた事に確信を持ち、子どもプロジェクトを充実させて行きたいと思います。又高齢当事者として高齢者問題も並行してやっています。

今年も会員の皆様をはじめ、多くの方々のお力をお借りして、高齢社会をよくする為に活動してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

こども明日花プロジェクト主催の「子どもの問題」啓発セミナー



下関圏域生活支援協議会主催のセミナー



やまぐちネットワークエコー主催の
「男女に活躍 生涯学習ネットワーク
研究会」

